

## 一喜一憂

No.15

「一喜一憂」

情況の変化に喜んだり、心配したりすること

藤屋 侃士

(下松市幸ヶ丘)

## キューガーデン展の魅力

周南市美術博物館 キューガーデン。面では「キューガーデン 積は130鈔を越え英国王室が愛した花々」が8月29日まで開催されている。

イギリス・ロンドン郊外にあるキューガーデン。正式名称は「キュー王立植物園」で、2003年に世界遺産に登録されている。植物園が世界遺産！と驚いたが、他にもシンガポール植物園があるそう、こちらはシンガポール唯一の世界遺産となっている。



キューガーデンの植物誌の挿絵と表紙

以上の歴史を誇る植物園は、3万種以上の植物、700万点もの標本、30万冊以上の蔵書、20万枚にもぼる植物画を所蔵している。また、植物園内には歴史的建物も多く、キュー宮殿は英国王室最小の宮殿とのことだ。

2013年にロンドンを旅した時、キューガーデンにも行きたかった。しかし、ロンドンの中心から地下鉄で30分以上かかることや、冬でバラの季節ではなく天気が悪かったら楽しむどころではないので断念した。

ボタニカルアートは写真のなかった時代には重要な記録でもあった。そのため、細部まで緻密に描かれ、色も繊細で美しかった。バラ、チューリップ、時計草、極楽鳥花など、我が家に咲く花々の絵も多く展示されていて、うれしい気持ちになったのは不思議なものだ。

「植物園」と聞くと、珍しいもの、貴重なものといったイメージが先行するが、私たちの身の回りにも実は大切なものが沢山あるのだらう、ということを感じさせられた。

花と絵画。心を癒やしてくれる最強の組み合わせかもしれない。

そして、楽しみは、展示会に合わせたグッズの買い物。ポストカード、ブックマーク、



ロンドンで購入した王室グッズのマグカップにキュー宮殿がある(中央)



グッズの数々

コースター、ベリーの香りの紅茶など。旅先の買い物は、次に巡り会えるかどうかかわからないものなら「迷ったら買う」。この鉄則に従って買った。